

各 位

平成 13 年 9 月 28 日

会社名 株式会社プレステージ・インターナショナル
(コード番号：4290 ナスダック・ジャパン市場)
本社所在地 東京都渋谷区初台一丁目 46 番 3 号
代表者 代表取締役社長 玉上 進一
問い合わせ先 執行役員 管理本部長 新 了衛
TEL (03) 5354-7800 (代表)

米同時多発テロ事件による当社グループの経営に対する影響について

株式会社プレステージ・インターナショナル(東京都渋谷区、代表取締役社長：玉上進一)が、米同時多発テロ事件より受ける影響についてお知らせいたします。

記

1. 現状の報告

一連の米国におけるテロ事件が米国経済に直接的、間接的に与えた影響は非常に大きく、それにより、米国に 3 拠点を持ち、また米国企業を顧客に多く持つ当社グループの連結経営に対しても少なからぬ影響を与えております。

今回のテロ事件による当社グループ事業所に対する直接的な被害はありませんでしたが、ニューヨーク、サンフランシスコの拠点において数回に及んでビルからの退去命令が出され、結果従業員の不安心理をあまり社員 1 名が退職いたしました。また、経済そのものの混乱と現地従業員の業務への集中力の低下により新規契約締結のスケジュールが最低でも 1~2 ヶ月遅れることが予想されます。また、下期の売上もマクロ的な不確定要素が大きく確度の高い予想が難しい状態にあります。当社の米国法人におきましては、売上予想に関しては最悪の状況を前提において、組織のリストラチャリングを開始しており、下期のコンタクトセンターの拡大計画を全て中止し、社員の人員整理を既に行なっております。

ロンドンの現地法人におきましても同様に下期に予定しておりましたコンタクトセンターの拡大の為に投資を中止いたしました。

また、東京本社でもグローバルコンタクトセンター・アウトソーシングサービスにおきましては海外クライアントの日本市場撤退による契約のキャンセルが既に 2 件発生しております。

米国カタログ通販のカスタマーサービス事業におきましては、本国からのカタログ到着の遅延によるマーケティングスケジュールの遅れと本国からの商品発送に関するトラブルが原因で受注に関するコール数が大幅に予定を下回り、既に採用したオペレーターの削減等の計画の見直しを行ないました。今後、秋冬商戦の売上最盛期を迎える当ビジネスにおきましては、日本、アメリカの経済状況を慎重に考慮し、柔軟性のある投資、採用を行なっていく予定であります。

グローバルアシスタンスサービス（GAS）におきましても、海外旅行者の減少により、影響があると思われまます。

また、旅行関連事業におきましても当社が得意とするヨーロッパ向け業務旅行の最盛期を迎えるにあたっての受注が、テロ事件後すべての拠点(日本、ロンドン、マドリッド)において大多数キャンセルされております。すでに受注している来月以降の手配に関しても、現状の社会状況が続けばキャンセルの可能性が非常に高いと予測されます。

上記のように今回の米国テロ事件を発端にした世界経済の落ち込みが当社グループの業績に与える直接、間接的影響は今後も続くことが予想されます。

2. 現状の対応

当社グループにおきましては、

- 1) 今下期中の設備投資の中止
- 2) 不採算部門及び間接部門の人員削減
- 3) 人員採用計画の見直し

を全世界レベルで行っており、今後も利益に与えるインパクトを最小限に抑えるよう努力してまいる所存であります。

3. 今期の業績見込みについて

平成 14 年 3 月期（上期）におきましては経常利益、当期利益ともに赤字となる見込みであります。平成 14 年 3 月期の業績予想に関しても下方修正を行なう予定であります。具体的な数字に関しましては、現在今回の事件が与える影響を含めて試算中でありまますので、11 月後半までに発表を予定しております。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社プレステージ・インターナショナル
経営企画部

電話：03 - 5354 - 7258 E-mail：ir@prestigein.com